

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年十二月度 入選句 (投稿総数二千四百五十三句・小中学投句数千七百二十三句)

特選

選者 白井 静子

いもうとにサンタのふりでプレゼント 大垣市 天木 心結(小二)

妹はいくつになるのでしょうか。プレゼントをもらって、きつと、とても喜んだことでしょう。サンタ  
クロスからのプレゼントですから、なおさらです。

妹の喜ぶ顔を見て、作者自身もとても嬉しくなる。妹思いの、やさしくてユーモアのある作者  
の様子がよく伝わります。

「大好き」という言葉を使わなくても、そのことがよく分かる佳句です。

かるた取りかさなつた手はあつたかい 大垣市 木村 ひな胡(小六)

同じ取り札に同時に手を付くことはよくあります。「私が先」「いや僕だよ」と、権利を主張す  
ることもよくあります。指先に力を入れて、自分の方へ引き寄せようとしています。せつかく取つた  
札を手離すことなどできません。

でも作者は、手と手が重なり合った一瞬に、「あたたかさ」を感じたのですね。手と手のぬくも  
りが心と心の触れ合いをよく伝えていきます。

きよ年より大きなくつ下クリスマス 安八郡輪之内町服部 湊央(小三)

毎年、クリスマスは楽しみなものです。欲しいプレゼントも、年々、少しずつ大きなもの変わっ  
ていきます。ですから、つるすくつ下も大きくなつていくのです。決して自分だけが大きなプレゼ  
ントをもらおうとしているわけではありません。人は自分の大きさに合ったプレゼントがもらえ  
るのですから。

少しずつ成長していくくつ下と私。どんな自分になつていくのか楽しみです。

秀逸

帰り道寄り道したらとんぼ見た 大垣市 河合 朋加(中三)

寄鍋に家族で集まる年の暮れ 大垣市 小倉 昂陽(小六)

たくさんの枯葉が落ちた道歩く 大垣市 菊地 友利奈(小六)

小春日の空に似合った歌うたう 大垣市 大橋 愛未(小六)

なわとびをとべばとぶほどさむけとぶ 大垣市 まつおか げんき(小二)

ゆきだるまつくつてあそべばともだちだ 大垣市 よし田 あやか(小二)

あきの夜かぜでおちばがあそんでる 安八郡輪之内 山北 唯里杏(小三)

かるたとりなかなかとれずじつとみる 大垣市 みうら あいな(小二)

ともだちとよくにたかおのゆきだるま 大垣市 木村 ひより(小三)

しもやけの母さんの手につつまれる 大垣市 青木 瑠花(小五)

こうえんでるすばんしてる雪だるま 大垣市 生駒 海翔(小二)

はくさいがたくさん入ったなべがすき 大垣市 おく田 まお(小二)

入選

ざっくりと一人楽しく毛糸編む  
 てぶくろをはめたらポカポカわたしの手  
 きようだいでしょうぶしようよこままわし  
 いぶき山雪がつもってずるいなあ  
 サンタさんわたしの家はここですよ  
 ねがいごとぼくのサンタはまんでんだ  
 母さんのおでんでかぞくぼつかぼか  
 初雪に犬より私喜んで  
 かるたとりとられてくやしなみだ出す  
 パリパリとかれはがなくよくつの下

大垣市 山口 響香(小六)  
 大垣市 佐竹 華(小二)  
 大垣市 田中 凜(小二)  
 大垣市 傍島 倫(小三)  
 大垣市 木村 育代(小三)  
 大垣市 西内 達也(小三)  
 大垣市 原田 咲(小五)  
 大垣市 古田 晏寿(小五)  
 大垣市 上野 真麻(小二)  
 大垣市 ふじ田 光せい(小二)

入選

冷えた風ほおに当たって痛くなる  
 小春日はいい事ありそうねこも言う  
 ゆきだるまおけしようしてる白い顔  
 さむすぎて手がうごかない登下校  
 年がじよう今年も元気にくらしてね  
 もう少しふとんにくるまる冬の朝  
 さむいあさいきはまっしろ手はまっか  
 あま酒でほつとひといきひと休み  
 しも柱土をもち上げ力もち  
 いぶき山春が来るまで一休み

大垣市 安田 望愛(小六)  
 大垣市 山脇 江美麗(小六)  
 大垣市 上野 たつま(小二)  
 大垣市 さいとう ゆい(小三)  
 大垣市 西本 多恵(小三)  
 大垣市 なす そうま(小三)  
 大垣市 清水 咲希(小三)  
 大垣市 志知 夕里菜(小四)  
 大垣市 三田 柊弥(小五)  
 大垣市 澤頭 怜奈(小五)

選者吟

初明り旅立つ人を包み込む

静子